

24 柔道競技

- 1 期 日 平成29年8月19日(土)～8月20日(日)
- 2 会 場 能代市総合体育館
〒016-0803 秋田県能代市大町9-53 TEL 0185-54-3607
- 3 競技区分 第44回東北総合体育大会柔道競技会
第72回国民体育大会東北ブロック大会

4 競技種別及び参加人員

種別	監督	選手	小計	参加県	計	国体出場枠
成年男子	1	5	6	6	108	2
女子	1	5	6	6		2
少年男子	1	5	6	6		6

5 競技上の規程及び方法

(1) 競技規程

ア 最新の国際柔道連盟試合審判規定で行う。

(ア) 勝敗の決定基準は、「一本」「技あり」「僅差」とし、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

(イ) 試合時間は、男女とも4分間とする。

イ 団体試合の勝負

(ア) 勝者数(「一本勝ち」「優勢勝ち」等を問わない。)の多い方を勝ちとする。

(イ) 勝者数が同じな場合は、「一本勝ち」の多い方を勝ちとする。この場合「不戦勝ち」「棄権勝ち」「負傷勝ち」「反則勝ち」「失格勝ち」も「一本勝ち」と同等に扱う。

(ウ) 前項における「一本勝ち」も同数の場合は、「優勢勝ち」のうち「技あり」の多い方を勝ちとする。

(エ) 内容が同数の場合は、「引き分け」とする。

(2) 試合方法

ア 各種別とも県対抗のリーグ戦とする。

イ リーグ戦終了後、戦績が同数の場合は、代表戦を行う。

(3) 柔道衣は全柔連認証柔道衣を着用し、背中に県名と名字を明示したゼッケンを縫い付けること。(最初からついていない者は「失格」とする)その方法は、次の図の例による。

図1 ゼッケンの位置

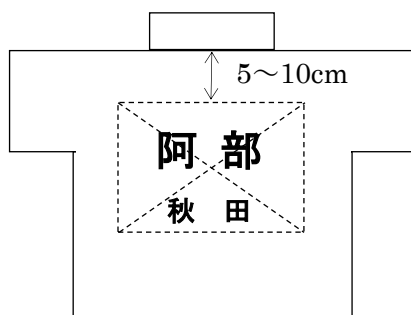
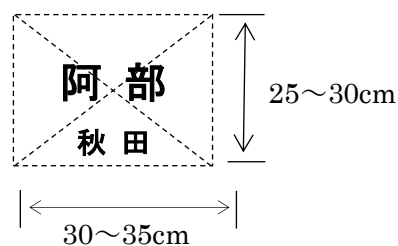


図2 ゼッケンの縫い付け方



ア 図1の位置に付けること。(図2の……の部分に縫い付けること)。

イ 名字(姓)は上側2/3、県名は下側1/3で横書きとする。

ウ 書体は、太いゴシック体（または、楷書）、男子は黒色、女子は濃赤色とする。

エ サイズは縦25～30 cm、横30～35cmとする。

6 参加資格、所属県及び選手の年齢基準

第72回国民体育大会実施要項総則の「5 参加資格」に定めたもののほか次による。

- (1) 参加者は、各県柔道連盟を通じて(公財)全日本柔道連盟に登録していること。参加者の段位は、講道館の段位による。登録した県からのみ出場できる。
- (2) 成年種別に「ふるさと」制度で参加する者は、登録を行った都道府県にかかわらず、該当する都道府県から参加できる。
- (3) 監督の条件
(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認コーチ、公認上級コーチ及び公認指導員、公認上級指導員の資格を有する者
- (4) 選手の配列順位
 - ア 成年男子
選手は、先鋒(体重60kg以下の者)、次鋒(体重60kgを超え73kg以下の者)、中堅(体重73kgを超え90kg以下の者)、副将(体重90kgを超える者)、大将(体重無差別)の順に配列すること。
 - イ 女子
選手は、先鋒(体重52kg以下の少年)、次鋒(体重57kg以下の成年)、中堅(体重52kgを超え63kg以下の少年)、副将(体重63kgを超え78kg以下の少年)、大将(体重無差別の成年)の順に配列すること。※出場県の実情に応じて次鋒、大将のいずれかを少年種別年齢域のものとすることも可能とする。
 - ウ 少年男子
選手は、先鋒(体重60kg以下の者)、次鋒(体重60kgを超え73kg以下の者)、中堅(体重73kgを超え90kg以下の者)、副将(体重90kgを超え100kg以下の者)、大将(体重無差別)の順に配列すること。
- (5) 選手は、試合前日の午後3時から4時までの間に計量を行い合格すること。
- (6) 選手の年齢基準
 - ア 成年種別に参加する者は、平成11年4月1日以前に生まれた者とする。
 - イ 少年種別に参加する者は、平成11年4月2日以降に生まれた者とする。
ただし、中学生以下の生徒及び児童は参加することができない。

7 成績採点方法

- (1) 種別毎の順位決定方法
 - ア 全試合が終了した時点で、チーム間における勝ち数の多いチームを上位とする。
 - イ アにおいて同位の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。
 - ウ イにおいて同位の場合は、総勝者数の多いチームを上位とする。
 - エ ウにおいて同位の場合は、一本勝ち、技あり勝ち、僅差勝ちの順に多いチームを上位とする。
 - オ エにおいて同位の場合は、一本負け、技あり負け、僅差負けの順に少ないチームを上位とする。
 - カ オにおいて同位の場合は、両チームが対戦した際の「引き分け」であった中から1組を抽選で選び、時間無制限のゴールデンスコア方式の代表戦により勝敗を決する。(先に「技

あり」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「指導」を与えられた選手が負けとなる)

(2) 総合順位決定方法

ア 成年男子、女子、少年男子の種別毎に1位7点、2位5点、3位4点、4位3点、5位2点、6位1点とし、各種別の合計点により総合順位を決定する。

イ 総合得点が同点の場合は、同位として取り扱う。

ウ 1位が同位の場合は、抽選により優勝杯を半年ずつ持ち回りとする。

8 表彰

(1) 男女総合成績第1位に大会会長トロフィーを授与する。

(2) 男女総合成績第1位から第3位までにそれぞれ表彰状を授与する。

(3) 各種別及び種目の第1位から第3位までに賞状を授与する。

9 参加申込方法

平成29年度国民体育大会東北ブロック大会兼第44回東北総合体育大会実施要項総則（以下「総則」という。）の「7 参加申込方法」による。

なお、選手の変更は試合前日の監督会議までとするが、変更届けを2部作成し、次の提出先へ1部を事前に送付、もう1部を監督会議の席上、大会実行委員会会長へ提出すること。

※ 提出先(送付先)

①第44回東北総合体育大会秋田県実行委員会事務局

〒010-8572 秋田県秋田市山王3丁目1-1

秋田県観光文化スポーツ部スポーツ振興課内

TEL 018-860-1242

FAX 018-860-3876

②監督会議

平成29年8月18日(金)午後4時45分～

能代キャッスルホテル

〒016-0831 秋田県能代市元町16-6

TEL 0185-55-1111

FAX 0185-55-1101

10 参加上の注意

総則の「12 参加上の注意」による。

11 その他

(1) 審判会議については、別途各県連盟へ通知する。

(2) 脳震盪対応について

※ 選手および指導者は下記事項を遵守すること。

1. 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場の許可を得ること。

2. 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)

3. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面による事故報告書を提出すること。